

# 第十六回 貴族院議事速記録第二十一號

院ニ通知セリ

蟲害地地租特別處分法案

明治三十五年三月五日(水曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第二十一號 明治三十五年三月五日

午前十時開議

第一 骨牌稅法案

(政府提出衆議院送付)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(議院提出衆)

第三 東京市區改正條例中改正法律案

(政府提出衆議院送付)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(議院提出衆)

第五 軍人恩給法中改正法律案

(政府提出)

第六 海軍造船材料資金會計法案

(政府提出)

第七 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

(政府提出)

第八 國稅徵收法中改正法律案

(政府提出)

第九 陸軍作業會計法中改正法律案

(政府提出)

第十 海底電信線保護萬國聯合條約罰則法

(政府提出)

第十一 民法中改正法律案

(衆議院提出)

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(議院提出)

第十三 猪獵法中改正法律案

(衆議院提出)

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(議院提出)

第十五 明治二十四年法律第二號中改正法律案

(衆議院提出)

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(議院提出)

第十七 國稅徵收法中改正法律案

(衆議院提出)

○議長(公爵近衛篤君) 是ヨリ報告ヲ致シマス  
(仙石書記官朗讀)

昨四日本院ニ於テ可決シタル政府提出砂糖消費稅法中改正法律案及左ノ衆議院提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議

同日本院ニ於テ可決シタル非命ノ死人救護ノ請願外十一件ハ即日政府ニ送付セリ

同日本院ニ於テ修正可決シタル政府提出鑛業法案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日本院提出地租條例中改正法律案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨衆議院へ通知セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル政府提出沖繩縣及東京府管内伊豆七島ニ於ケル國稅徵集ニ關スル法律案ハ本院ノ修正ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日同院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

鐵道敷設法中改正法律案

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

明治三十五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第六號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第五號)

明治三十四年度歲入歲出總豫算追加案(第六號)

明治三十五年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治三十五年度特別會計歲入歲出總豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第三號)

同日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案

右案ニ付本院ハ貴院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議セリ因テ議院法第五

十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコトヲ請求候也

明治三十五年三月四日 衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤君

本院ハ市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案協議會委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セリ此段及通知候也

明治三十五年三月四日 衆議院議長片岡健吉

各特別委員會ニ於テ當選シタル委員長副委員長ノ氏名左ノ如シ

明治三十三年度豫備金支出ノ件外四件承諾ヲ求ムル件特別委員會

委員長 侯爵松平 康莊君

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法中改正法律案外一件特別

委員會

委員長 伯爵廣澤 金次郎君

副委員長 男爵小澤 武雄君

明治二十九年法律第六十三號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵清棲 家教君

副委員長 子爵堀田 正養君

軍人恩給法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵長岡 護美君

副委員長 子爵高木 正善君

海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案特別委員會

委員長 村田 保君

副委員長 伯爵島津 忠亮君

粗製樟腦、樟腦油專賣法案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君

副委員長 名村 泰藏君

日本勸業銀行法中改正法律案外二件特別委員會

委員長 伯爵正親町 實正君

副委員長 平山 成信君

地租ヲ課セサル土地ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵大原 重朝君

副委員長 辻 次君

○侯爵松平康莊君 是ヨリ議院法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマ

スカラ退席致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス、唯今報告ニナリマシタル市町

村會議員及市參事會員ニ關スル法律案ニ附キマシテ衆議院ヨリ兩院協議會ノ

請求ガアリマシテ、協議委員ノ數ハ十名ト云フコトアリマス、コチラデモ十

名ノ協議委員ヲ選ム必要ガアリマス、是ハ議長ノ指名ニ御委託ニナリマスカ

如何デゴザイマスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤脣君) ソレデハ議長ニ於テ指名ヲ致シマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、骨牌稅法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會……チヨット其前ニ御相談致シマスガ、昨日ノ例ニ依リマシテ本日ノ議案中特別委員ハ直グニ議長ニ於テ指名スルト云フコトデ御異議ハアリマセヌカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 朗讀ハ省略致シマス  
〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス以下同シ〕

### 骨牌稅法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年三月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

### 骨牌稅法

第一條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲サムトスル者ハ政府ノ免許ヲ受クヘシ

前項ノ免許ハ骨牌ノ製造ヲ爲サムトスル者ニ在リテハ製造所一箇所毎ニ骨牌ノ販賣ヲ爲サムトスル者ニシテ販賣所ヲ有スル者ニ在リテハ販賣所一箇所毎ニ之ヲ受クヘシ

骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

第二條 収稅官廳所在地外ニ於テハ政府ハ骨牌製造ノ免許ヲ與ヘス

第三條 骨牌製造ノ免許ヲ受ケタル者ハ毎年製造所一箇所毎ニ免許料六十圓ヲ納ムヘシ

免許料納付ノ期限及方法ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四條 骨牌ニハ一組每ニ二十錢ノ稅ヲ課ス

第五條 骨牌稅ハ骨牌ノ包裹ニ印紙ヲ貼用シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 骨牌ヲ製造シ又ハ輸入シタルトキハ製造後二十四時間内又ハ稅關若ハ保稅倉庫ヨリ引取前ニ於テ一組每ニ包裹ヲ施シ貼用印紙ヲ破毀スルニ非サレハ骨牌ヲ取出スコトヲ得サルノ裝置ヲ爲スヘシ

第七條 貼用印紙ニハ印紙面ヨリ他所ニカケ消印ヲ爲スヘシ

第八條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ハ骨牌ノ出入ニ關シ詳細明瞭ニ其ノ事實ヲ帳簿ニ記載スヘシ

第九條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ハ相當印紙ノ貼用ナキ骨牌、第六條

ノ裝置ヲ爲ササル骨牌又ハ第七條ニ依リ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル骨牌ヲ所持スルコトヲ得ス

第十條 相當印紙ノ貼用ナキ骨牌、第六條ノ裝置ヲ爲ササル骨牌又ハ第七條ニ依リ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル骨牌ハ稅關又ハ保稅倉庫ヨリ之ヲ引

取ルコトヲ得ス

第十一條 収稅官吏ハ骨牌ノ製造所、販賣所又ハ販賣者ニ就キ骨牌ノ製造又ハ販賣上必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得

第十二條 外國ニ輸出スル骨牌及骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ノ見本ニ供スル骨牌ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ骨牌税ヲ免除ス

前項ノ骨牌ニ付テハ第六條第九條第十條第十五條及第十六條ヲ適用セス

第十三條 骨牌ノ製造ヲ爲ス者免許料ヲ納付セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

第十四條 免許ヲ受ケヌシテ骨牌ノ製造ヲ爲シタル者ハ三百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ免許ヲ受ケヌシテ骨牌ノ販賣ヲ爲シタル者ハ五十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

免許ヲ受ケヌシテ骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲シタル者ノ所持ニ係ル骨牌ハ之ヲ沒收ス

第十五條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者相當印紙ノ貼用ナキ骨牌ヲ讓渡シタルトキハ脫稅高二十倍ノ罰金ニ處シ其ノ骨牌ヲ沒收ス但シ脫稅高二十倍ノ金額十圓ニ達セサルトキハ十圓ノ罰金ニ處ス

第十六條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者相當印紙ノ貼用ナキ骨牌ヲ持シタルトキハ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ第六條ノ裝置ヲ爲ササル骨牌又ハ第七條ニ依リ貼用印紙ニ消印ヲ爲ササル骨牌ヲ所持シ又ハ之ヲ讓渡シタルトキハ三圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ骨牌ハ之ヲ沒收ス

第十七條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者骨牌ノ出入ニ關シ帳簿ノ記載ヲ怠リ又ハ之ヲ詐リタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 収稅官吏其ノ職務ヲ執行スルニ當リ其ノ職務執行ヲ拒ミ又ハ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第十九條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪及減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用ヰス但シ刑法第七十五條第一項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ製造又ハ販賣ヲ爲ス者其ノ責ニ任ス

第二十一條 本法ハ伊呂波加留多、歌加留多及政府ノ認許ヲ得タル骨牌ニ

之ヲ適用セス

#### 附 則

第二十二條 本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 本法施行一年前ヨリ骨牌ノ製造ヲ爲ス者ニシテ同一ノ場所ニ於テ引續キ骨牌ノ製造ヲ爲ス者ニハ第二條ヲ適用セス

第二十四條 本法施行前ヨリ骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者本法施行ノ日ヨリ七日以内ニ第一條ニ準シ政府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做サレサル者ノ所持ニ係ル骨牌ハ之ヲ廢毀スヘシ

前項ニ違反シタル者ハ三百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ骨牌ハ之ヲ沒收ス

第二十五條 本法施行ノ際骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ノ所持ニ係ル骨牌ハ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ニ於テ第四條第五條ニ依リ相當印紙ヲ貼用シ第六條ノ裝置及第七條ノ消印ヲ爲スヘシ

第二十六條 本法ヲ臺灣ニ施行スル迄又ハ臺灣ニ於テ本法ト同一若ハ之ヨリ重キ課稅ヲ爲ス迄ハ臺灣ヨリ本法施行地ニ骨牌ヲ移入スルコトヲ得

前項ニ違犯シタル者ハ三百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ骨牌ハ之ヲ沒收ス

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君) 本案提出ノ理由ヲ説明致シマス、此加留多ハ各國ニ於キマシテモ奢侈品ト認メマシテ、ソレヽ税ガ掛ケテ居リマス、中ニハ此加留多ノ臺紙、臺ニ使ヒマスル用紙マデモ政府カラ賣ツテ居ル所モゴザイマス、是ハ國稅ト致シマシテ相當ナルモノデアリマスル、テ段々教育費其他ニ附キマシテ將來又經畫上財源ヲ必要トスルト云フコトハ言ヲ俟タヌコトデゴザイマセウ、斯ノ如ク奢侈品デアリテ將來適當ナル財源ト爲ルベキモノハ追追今日ヨリ稅法ヲ定メテ置クト云フコトガ必要デアラウト考ヘマシテ、即チ提出致シマシタ次第ゴザイマス、唯今ノ所デハ一箇年凡ソ三十萬圓收入ノ見込デゴザイマス、是ハ現在製造致シテ居ル高ガ幾ラカ稅ガ掛リマスレバ減ルト考ヘマスルノデ凡ソ一箇年三十萬圓ノ收入ト見込ミマシタノデゴザイマス、衆議院ニ於キマシテモ異議ナク可決ニ相成リマシタ次第ゴザイマスカ

ラ速ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○村田保君 政府委員ニ少々質問ヲ致シタウゴザイマス、第一此骨牌ト云フ文字デゴザイマスガ、此骨牌ト申シマスルコトハ關稅定率法ニ骨牌ト云フ課目ガアリマシテ、稅ヲ取テ居リマスガ、關稅定率法デ骨牌ト云フコトハカレトシテアリマスガ、是テハ矢張花加留多ト云フ物モ這入ルヤウデアリマスガ、サウシマスト今後サウ云フ物ハ今ノ所ハゴザイマセヌガ、アッタラ稅ヲ掛ケルノデアリマスカ、一體骨牌ト云フ字義ヲ第一能ク定メテ置キタイと思ヒマス、ソレト又之ニ附イテ政府ハドノ位ノ稅ヲ取ラル、積デゴザイマスカ、ツレモ伺ツテ置キタイ

〔政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 骨牌ト申シマスノハ即チ加留多ノコトデアリマシテ總テ加留多ヲ含ミマスル積デゴザイマスガ、此稅法ノ二十一條ニモゴザイマスル通伊呂波加留多或ハ歌加留多ト申シマスルヤウナ物ハ是ニハ稅法ヲ適用致シマセヌ積デゴザイマス、ア重ニ此どらんぶ若クハ花加留多ト云フ即チ五十二枚或ハ四十八枚ヲ以テ組合セテアリマスル所ノ加留多ニ稅ヲ掛ケマス

○村田保君 ツレカラ此稅ト申シマスルモノハ免許稅ノヤウニナッテ居マスガ、此骨牌ニ稅ヲ掛ケルト云フコトニナリマシタナラバ、成ルベク稅ガ取レル方ガ宜イ、チットモ餘計稅ガ取レナケレバ政府ノ收入ニ損ガアリマスカラ二十萬圓ナラバ百萬圓モ取リタイト云フ政府ノ考ニ違ヒナイ、然ルニ此理由ヲ見マスルト「弊害ヲ生シ易キ奢侈品」トアル、弊害ヲ生シ易キ奢侈品ヲ稅ヲ取テ益々盛ニ取リタイト云フ政府ハ意向ノヤウニ見エル、一體サウ云フ弊害ヲ生ズルト云フ物ニ稅ヲ掛ケルト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ益々獎勵スルト云コトニナリハセヌカト思ヒマス、ソレト此骨牌ト云フ物ハ今日一般ニ認メテ居ル所ハ多クハ賭博ニ用井ルモノガ多イ、或ハソレ故ニ弊害ト云フ文字ガ出タコトダラウト思ヒマス、サウスルト間接ニ賭博ヲ獎勵スルヤウニモ見エルガ一體政府ハドウ云フ考デアリマスカ、私共ノ見マスル所ハ昨日ノ未成年者禁酒法案ト此骨牌法案ハ殆ド滑稽のモノテハナイカト思ヒマスガ、政府ハドウ云フ御考デアリマスカ、ソコヲ伺ツテ置キタイ

(政府委員阪谷芳郎君) 此加留多ノ稅ハ一組ニ附イテ二十錢ト云フ印紙稅

○政府委員(阪谷芳郎君) 此加留多ノ稅ハ一組ニ附イテ二十錢ト云フ印紙稅

ヲ取リマス、ツレカラ免許料ヲ取リマスルノハ製造所ガ廣ガリマスルト脱稅

ノ恐ガアリマスルカラ免許ヲ與ヘテ相當ナル監督ヲ爲シテ脱稅ノ生ゼヌヤウニスル考デアリマス、ツレカラシテ此加留多ノ稅ヲ取ルノハ賭博ヲ獎勵シハシナイカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ何モ賭博ニハ關係ヲ致シマセヌノデゴザイマシテ、詰リ贅澤品デアル、其贅澤品モ即チ有害ナル贅澤品デアルニ依ツテ稅ヲ課シテ相當ナリト政府テ認メタノデ固ヨリ歲入ノ目的デ課スルノデアリマスカラ、歲入ノタント取レルコトハ政府ハ希望スルノデアリマスガ、稅ガ掛レバ幾分カ賣レガ減ルト云フノデゴザイマスカラ、賣レノ減ルト云フ方カラ見マスレバ決シテ賭博ヲ獎勵スルコトニハナラナイト考ヘマス、又賭博ノコトニハ毛頭關係セヌノデアリマス、詰リ奢侈品デアル、其奢侈品ハ弊害ノ多イ奢侈品デアルカラ稅ヲ課シテモ相當デアラウト云フノガ政府ノ理由、詰リ將來ニ於キマシテ教育費其他ノ事ニ附イテ費用モイルシ適當ナル稅源デアルニ依ツテ今日カラ其財源ヲ養成スルヲ適當ナリト認メタ次第デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 他ニ御質問モナクバ次ノ日程ニ移リマス、東京市區改正條例中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

東京市區改正條例中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十五年三月三日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

東京市區改正條例中左ノ通改正ス

第三條第三號ノ次ニ左ノ如ク加フ

一 其他勅令ヲ以テ指定シタルモノ

府費ヲ市ニ分賦シタル場合ニ於テ營業稅、雜種稅又ハ家屋稅ヲ賦課セム

トスルトキハ内務大臣大藏大臣ノ許可ヲ得テ其稅率ヲ定ムヘシ

市ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ他ノ市費ノ中ヨリ市區改正ノ費用ヲ補充スルコトヲ得ス

第七條 第三條及第五條ノ收入合計ハ毎年度五拾萬圓ヨリ少カラス百萬圓ヨリ多カラサルモノトス但毎年度雜收入及前年度繰越金ハ本條ノ收入額

本法ハ明治二十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員山縣伊三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(山縣伊三郎君) 東京市區改正ノ事業ハ御承知ノ如ク著手以來數十年ヲ經過シテ居リマスルガ、當初計畫ノ宏大ニシテ費用ノ制限ガアルガタメニ其成績ニ附イテハ甚ダ見ルベキモノガ少イノデアリマス、ソレ故市區改正委員會ニ於テハ從來ノ設計ヲ變更縮少シテ費用ノ制限ヲ緩ウシテ其進捗ヲ圖ランコトヲ目下企テ、居リマス、ソレ等ノ理由ニ基キマシテ本案ヲ提出シタル次第デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 別段御質問モナクバ次ノ日程ニ移リマス、軍人恩給法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

軍人恩給法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長

子爵長岡 護美

(子爵長岡護美君演壇ニ登ル)

○子爵長岡護美君 此案ハ軍人ノ恩給法中ノ改正法律案デアリマスルガ、是マデ軍人ガ戰地ニ臨シテ敵手ニ斃レ、又負傷シタ末ニ死歿シタルヤウナ其當人ト、又遺族ニ今度ハ少シ他ノ公務ノタメニ死シタリ、或ハ此案中ニ在リマスル通二項三項ノ分ト少シ異ブテ特ニ名譽アル戰死ヲシタヤウナ人ハ特典ヲ與ヘタイト云フコトカラ、即チ此改正案ガ出來タ次第アルノデアリマス、是ハ委員會ノ方デハ直ニ可決シタ次第デゴザイマシテ、此案ガ貴族院ヲ通過スレバ直ニ衆議院ヘ送付ニナリマシテ、ソレカラ本年ヨリ、此本人ナリ遺族ナリ此恩典ニ與カルコトデゴザイマシテ誠ニ委員ノ方デハ一同贊成ヲ表シタ次第デアルノデアリマスノデアリマス、唯今丁度將校ガ百五十二名、又下士ガ百九十五人、ソレカラ卒ガ千三百二十九人、是ダケノ人ガ本年カラ今度ノ規則ノ扶助ニ與カル譯デアルノデアリマス、丁度此增額ガ一年ニ四萬三千十三圓ト云フコトダケノ増ニナルノテアリマシテ、是ハ一日モ早ク斯ウナリタイト私共考ヘル次第アルノデアリマス、此第五號ノ表ヲ御覽ニナルト能ク分ッテ居リマスガ、今度ノ甲號ト云フモノハ是マデナカツタノデアリマス、然ルニ今度

ハ戰死又ハ戰鬪ニ因テ負傷ノタメニ死歿シタルトキノコトヲ別ニ分ケマシタデ、此方ガ大約八十圓バカリ宛皆増シテ居ルコトニナツテ居リマス、又上ノ方ニナルトマダモウ少シ増シテ居リマスガ、是ハ誠ニ結構ナ案ト考ヘルノデアリマセヌデ、此附則ノ方ハ是ハドウモ法律ト云フモノハ既往ニ遡ル譯ニ參ノ遺族モ少シ残テ居リマスシ、又日清戰爭或ハ臺灣ノ土匪剿滅ノ時ニ其災ニ罹ラタ者ハ皆此恩典ニ浴スル譯デアリマスカラ、誠ニ是ハ結構ナ案ト存シマスデ、ドウカ讀會省略デ直ニ可決ニナランコトヲ希望致シマス

○伯爵大原重朝君 讀會省略ニ賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○村田保君 賛成

○子爵大田原一清君 賛成

○中島永元君 賛成

○子爵谷干城君 賛成

○男爵中島錫胤君 賛成

○子爵谷千城君 賛成

○男爵楫取素彦君 賛成

(其他「賛成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 海軍造船材料資金會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

海軍造船材料資金會計法案  
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長

伯爵德川 達孝

## (伯爵德川達孝君演壇ニ登ル)

○伯爵德川達孝君 此案ノ委員會ハ昨日開キマシテ、質問モ致シ、十分審議ヲ盡シマシタル所、此理由ハ理由書ニ書イテアル通ノ次第デゴザイマシテ必要ナ案デアルト云フコトヲ以チマシテ修正モナク全會一致ヲ以テ可決ニナッタ次第デアリマス、此段御報告ニ及ビマス、若又此事ニ附キマシテ御疑等モゴザイマスレバドウゾ政府委員ニ御質問ヲ願ヒマス

○南鄉茂光君 此案モ讀會省略ヲ以テ……

○子爵内田正學君 贊成

○湯地定基君 贊成

○男爵野村素介君 贊成

○色部義太夫君 贊成

○宮島誠一郎君 贊成

○澤簡徳君 贊成

○男爵本田親雄君 贊成

○下條正雄君 贊成

○男爵中島錫胤君 贊成

○男爵成瀬義一郎君 贊成(其他「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノニ以上ト認メマス、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノニ以上ト認メマス、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遣族扶助料ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長

伯爵萬里小路通房

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

○伯爵萬里小路通房君 本案ハ拙者報告ヲ致ス苦デゴザイマスケレドモ、少少事故ガアリマシテ、副委員長ニ御依頼ヲ致シマス

(中島永元君演壇ニ登ル)

○中島永元君 本案委員長萬里小路伯爵ハ今御本人仰ノ通ニ歯ノ工合ガ悪クツテ發聲ニ差支ヘルサウデアリマスカラ私ガ代ツテ本案委員會ノ經過並結果ヲ御報告致シマス、此委員會ハ昨日午前ニ於テ一回開キマシタ、開キマシタコトハ一度デアリマシタガ隨分種々ノ質問等モ出マシテ相當ノ審査ヲ遂ゲタ積デアリマス、而シテ其結果ハ原案ノ通可決スベキモノト爲リマシテゴザリマス、其理由ハ此案ノ理由書ニモ在リマスル通、極明瞭ノコトデアリマシテ、殊ニ臺灣ニ在勤スル官吏軍人及學校職員等ハ皆内地ト違ヒマスル特別ノ恩典ガゴザイマス、巡查看守ニ對シテハマダ斯ノ如キ特別ノ恩典ガゴザイマセヌ、全體ノ退隱料扶助料ト云フモノガ御承知ノ通昨年三十八號法律ヲ以テ制定サレタコトデアリマシテ、マダ此他ノ官吏ヤ軍人ノヤウニ特別ニ之ニ對スル恩典ト云フモノガ規定ガアリマセヌ、此法律ガ施行セラレテ始テ他ノ官吏ヤ軍人ト權衡ヲ得ルヤウナ譯ニナリマス、斯ノ如キ至當ノ主意ニ依リ提出セラレマシタ案デゴザイマスルカラ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマスル、附キマシテハ本院ニ於カレマシテモ委員會ノ報告通ニ御贊成アランコトヲ希望致シマス、尙ホ序ニ本案ハ單純ナ案デモアリマスルシ且ツ會期モ切迫シテ居リマスカラ讀會ヲ省略シテ直ニ議了セラレンコトヲ希望シマス

○南鄉茂光君 讀會省略ニ贊成

○色部義太夫君 贊成

○松永安彦君 贊成

○子爵内田正學君 贊成

(其他「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤麿君) 讀會省略ノ動議ハ成立ツタモノト認メマス、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤麿君) 三分ノニ以上ト認メマス、讀會ハ省略ニナリマシタ、本案御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

(異議ナシ)ト呼フ者多シ)

○議長（公爵近衛篤麿君） 國稅徵收法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、  
第一讀會ノ續、特別委員長報告

國稅徵收法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長  
伯爵正親町 實正

貴族院議長公爵近衛篤麿殿  
(伯爵正親町實正君演壇ニ登ル)

○伯爵正親町實正君 本案委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本委員會ハ一昨日開會致シマシタ、本案提出ノ理由ハ理由書ニモゴザイマス通ニ國稅徵收法制定實施ノ後ニ於テ種々實驗ニ徵シテ不備缺點ガ段々ゴザイマス、其缺ヲ補ヒ且ツ又其後ノ法律ノ結果等ニ依ツテ已ムヲ得ズ變更ヲ要スルト云

フヤウナ譯デアリマシテ、必要缺クバカラザル所ノ修正ノミヂアルヤウニ考ヘマス、之ニ附キマシテハ、政府委員ヨリモ各條ニ於テ綿密ナ説明モゴザイマシタ、又委員カラモ餘程綿密ナル質問モゴザイマシテ審査ヲ遂ゲマシテゴザイマス、併ナガラ委員會ニ於キマシテハ唯今申述ベタ如ク已ムベカラザル修正デアルニ依ツテ此修正ハ最モ適當ナルコト、云フコトニ決シマシテゴザ

イマス、尙ホ衆議院ニ於テ聊カ修正ガゴザイマス、併ナガラ衆議院ノ修正ハ別段本案ニ附イテノ意味ニ於テ少シモ變りハナイ、唯法文ノ體裁上ニ於テ修正ヲ加ヘタマデアリマス、例ヘバ原案ハ唯四條トバカリアリマシテ其次カラ四條ノ二三ト云フコトニナツテ居リマス、ソレデハ不都合デアルカラ四條ヲ四條ノ一トシテ、ソレカラ順次次ヘ參ル、或ハ又其次ノ「九條ヲ削リ第八條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ」ト云フノヲ修正スルト云フヤウナ事柄デ、總テ斯ノ如キ唯體裁上ノ修正デゴザイマシテ、意味ニ於テハ少モ變リマセヌデゴザリマス、ソレ故ニ此修正ニ於キマシテモ別段差支ナイコト、認メマシテ全會一致ヲ以テ同時ニ可決ニナリマシタ、此段御報告致シマス

○伯爵大原重朝君 讀會ヲ省略シテ可決アランコトヲ希望シマス

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○子爵錦織教久君 贊成

○伯爵正親町實正君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成  
○子爵内田正學君 贊成

（其他「贊成」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衛篤麿君） 読會省略ノ動議ニ贊成ガ續々アリマシタ、大抵成立ヲト思ヒマス、讀會省略三分ノ二以上ノ贊成アルモノト認メテ御異議ゴザ

イマセヌカ

○議長（公爵近衛篤麿君） ソレデハ讀會ハ省略シマス、御異議ガナケレバ原案ニ決シマス  
（「異議ナシ」ト呼フ者多シ）

○議長（公爵近衛篤麿君） 陸軍作業會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

陸軍作業會計法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長

侯爵細川 護成

貴族院議長公爵近衛篤麿殿  
(侯爵細川護成君演壇ニ登ル)

○侯爵細川護成君 此陸軍作業會計法中改正法律案ハ第二條第一項、第三條ノ第一項ノ件デアリマシテ、是マデノ作業會計法中ニハ「機械其他重要ナル器具」トアリマスルノヲ「建物其ノ他工作物船舶」ト云フモノヲ加ヘタノデアリ

マス、ソレハ理由書ニモアリマスル通ニ此機械器具杯ノモノハ是マデ一般會計ノ支辨ニ屬シテ居リマシテ、其ノ他ノモノハ特別會計ニ屬シテ居リマスルマス、ソレ故ニ此修正ニ於キマシテモ別段差支ナイコト、認メマシテ全會一致ヲ以テ同時ニ可決ニナリマシタ、此段御報告致シマス  
○伯爵大原重朝君 讀會ヲ省略シテ可決アランコトヲ希望シマス  
○伯爵萬里小路通房君 贊成  
○子爵錦織教久君 贊成  
○伯爵正親町實正君 贊成  
○下條正雄君 贊成

- 伯爵大原重朝君 贊成
- 男爵本多副元君 贊成
- 高木兼寛君 贊成
- （其他「贊成」ト呼フ者多シ）
- 議長（公爵近衛篤脣君） 讀會省略ノ動議ハ成立タモノト見テ 御異議ゴザイマセヌカ
- 議長（公爵近衛篤脣君） ソレデハ三分ノ二以上ト認メマス
- （異議ナシト呼フ者アリ）
- 議長（公爵近衛篤脣君） ソレデハ讀會省略シマス、本案御異議ガナクバ原案ニ決シマス
- （異議ナシト呼フ者アリ）
- 議長（公爵近衛篤脣君） 海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告
- 海底電信線保護萬國聯合條約罰則法律案
- 右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也
- 明治三十五年三月四日

右特別委員長

村田保

## 貴族院議長公爵近衛篤脣殿

(特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミ掲載ス)

第二條 過失ニ因リ又ハ自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲已ムヲ得スシテ  
海底電信線ヲ切斷又ハ破損シタル者ハ其ノ船舶ノ初メテ到著シタル地ノ  
時ヨリ二十四時間以内ニ届出ツヘシ  
前項ノ規定ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 此法案ハ昨日委員長副委員長ヲ選舉致シマシテ政府委員カラモ  
要求モゴザイマシテ引續キ委員會ヲ開キマシタデゴザイマス、逐條審議ノ末、  
衆議院ノ修正ノ如ク全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、唯此二條ノ二行目ニ  
ゴザイマスル「電信官署警察官署」トゴザイマス間ヘ「又ハ」ト云フ二字ヲ加

ヘマシタ、斯ウ電信官署警察官署ヘ届出デロト云フコトニナリマスルト、兩  
方ヘ届出デナクチヤナラヌヤウニ解釋ヲ致サナクチヤナラヌ、ソレデ政府委  
員ニ是ハ兩方ヘ届出デルモノカ或ハ一方ダケデ宜イカト云フコトヲ尋ネマ  
シタ所ガ、政府委員ノ答ニ依リマスト、原案ノ主意ト云フモノハ何レカ一方  
ニ届出デレバ宜イト云フコトデゴザイマシタ、サウシテ見マスルト云フト  
「又ハ」ト云フ字ヲ加ヘマセヌト云フト或ハ兩方ニ届出デナクチヤナラヌト云  
フヤウニ見エマスカラ「又ハ」ト云フ字ヲ加ヘルコトニ致シマシタ、政府委員  
ニ於キマシテモ固ヨリ之ニハ少モ異議ハゴザイマセヌ、却テ望マレル位デゴ  
ザイマスカラシテ意味ヲ明瞭ニスルガタメニ斯ノ如キ文字ヲ加ヘタダケデゴ  
ザイマス、ソレカラ衆議院ニ於キマシテ第二條ニ修正ニナッテ居リマス「過  
失ニ因リ又ハ自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲已ムヲ得スシテ」ト云フ字ガ  
加リマシテ「何等ノ場合ヲ問ハス」ト云フ政府ノ原案ヲ削リマシタ、其意味ヲ  
政府委員ニ尋ねテ見マシタ所ガ「何等ノ場合ヲ問ハス」ト云フコトニ書キマス  
ルト云フト、何等ノ場合モ問ハヌト云フコトデゴザイマスカラ第一條ニハ電  
信線ヲ切ツタ條ガアリマスルガ、此一條ノ故意ヲ以テシタ者マデモ届出サセ  
ナクチヤナラヌト云フコトニナル、サウ致シマスルトドウモ故意デ自分デ罪  
ヲ犯シタル者ガ自分デ其罪ヲ討クト云フヤウナコトハドウモ掲ゲルト云フコト  
ハ甚ダ不穏當ナ譯デアルシ、ソレカラ  
ヲ過失ニ因リ過失ノ場合ハ粗忽デ損ジマシタモノデスカラ届出デサセルコト  
ガ當然デアル、ソレカラ「又ハ自己ノ生命若ハ船舶ヲ保護スル爲」ト申シマ  
スルコトハ丁度萬國條約ノ第二條ノ二項ニ其コトガアルノデス、自己ノ生命  
或ハ船體ノ安全ヲ保護スルニ正當ナ目的ニテ已ムコトヲ得ズシテ切斷或ハ破  
損ヲシタモノハ此條例ヲ適用セヌト云フコトガアリマスカラ、サウ云フ場合  
デ切リマシタノト又ハ過失ニ依テ一切リマシタ場合ヲバ届出デサセルト云フ  
コトニ致シタト云フコトデアリマス、ソレカラ又此罰則ト申シマスルモノハ  
條約ノ加盟國ニハ何處デモ設ケテアルサウデアリマス、然ルニ故意ノモノヲ  
モ届ケサセルト云フコトハ何處ノ國ニモナイ、旁々以チマシテ政府委員ニ於キ  
マシテモ衆議院ノ修正ニ贊成ヲ表シタト云フコトデアリマス、又委員會ニ於  
キマシテモ此修正ハ至極當然ノ修正ト認メマスノデ、ソレカラ此法案ト申シ  
マスルモノハ理由書ニモゴザイマスル通新ニ今回出マシタ法案デハナイ、本  
邦ガ十八年ノ七月ニ萬國聯合條約ニ加盟ヲシマシテ其條約ノ第十二條ト云フ  
モノニ此條約ノ第二條、第五條及第六條ノ條款ヲ犯シタル者ハ禁錮若クハ罰

金或ハ此二刑ヲ以テ罰スルタメ必要ナル條項ヲ定メ、サウシテ立法官ニ出セト云フヤウナコトガゴザイマシテ、條約中ニ此刑名ヲ設ケテ罰則ヲ設ケナク

〔公爵近衛篤麿君〕直チニ第二讀會ニ移シテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

チヤカラヌト云フコトガアリマスカラシテ、條約ニ加盟スルト同時ニ此罰則ヲバ其時分ニ、即チ現行ノ罰則ヲ設ケタコトデアリマス、所ガ現行ノ罰則デゴド、ハレ共曾詩、電言剣削ヘ、刑法可筆ニ表レ、ニヤツニ居レ

サインマスカルト其當時ノ電信條例トノ形法何條ニ依ルト云フニシテ居ル所ガ、此電信條例ト云フモノハ御存ジノ通電信法ガ出マシテ一昨年カラ電信條例ト云フモノガモウ廢セラレテ仕舞ツテ居ル其廢セラレテ居ルガ故ニ電信

○議長（公爵近衛憲君）然ラバ第三條ヨリ終マ  
（異議一ノハ平ノ者ノハ）

條例ニ據リタクモ基ガナイ、幸はマデ事件ガゴザイマセヌカラ是デ濟ミマシタノゴザイマスガ、一朝斯ウ云フ事件ガ起リマシタナラバ之ヲ罰スル明文

（「異説ナシ」ト呼フ者アリ）  
○議長（公爵近衛篤曇君）ソレデハ是モ原案ニ決シマス  
○村田保君 直チニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマニ

が少モキテノト云フモノガ此改正自實ノ第ニテ  
遅イノデス、電信條例ノ廢止ト同時ニ此改正ト云フモノガ出ナク、チヤナラ  
ヌノデゴザイマスルガ、ソコニハ何カ種々ナル事情ガアルトカ申スコトデ今

○議長（公爵近衛篤麿君）直チニ二讀會ヲ開イテ  
〔「賛成」ト呼フ者アリ〕  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

異議ゴザイマセヌカ

モ必要ナル改正デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテモソレ故ニ少モ是ニハ反對等ハゴザイマセヌ譯デアリマシテ、全會一致デ先程申シマシタ通可決シ

○議長（公爵近衛篤曆君） ソレデハ二讀會ニ移リ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

マシタ語テニサイマヌドウソ此會期切迫ノ場合テニサイマヌカラシテ願ノクハ讀會省略以テ速ニ可決アランコトヲ希望致シマス

○議長（公爵近衛篤君）御異議がナクバ原案ニ決シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 修正ガアリ マスガ讀會省略ニ御賛成デアリマズカ  
〔賛成「ト乎フ者多シ」〕

右本院提出案及送付候也  
民法中改正法律案

○議長（公爵近衛篤麿君）修正ヲ附ケタ儘デ讀會省略ニ御贊成アスカ  
○伯爵大原重朝君 左様アス、讀會省略贊成

明治三十五年三月三日  
貴族院議長公爵近衛篤麿殿  
衆議院議長片岡健吉

○子爵稻垣太祥君 修正ガアルナラバ 読會省略ハ餘リ略ニ過ギハシナイカ  
○議長(公爵近衛篤曆君) 修正ガアリマスカラ 御注意致シマシタノデゴザイ  
マヌ

民法中左ノ通改正ス  
第九百七十條第一項第三號ニ左ノ但書ヲ加フ  
但父入夫入婚ナル時ハ嫡出子ハ女ト雖モ之ヲ庶子ヨリ先ニス

○伯爵大原重朝君 読會省略ヲ取消シマス  
○議長(公爵近衛篤磨君) 本案ハ二讀會ニ移スベシトシテ御異議ハアリマセ

○政府委員(梅謙次郎君) 政府ハ本案ニハ反対ヲ致シマスルノデ、此理由ヲ  
（政府委員梅謙次郎君演壇ニ登ル）

又  
カ

簡短ニ申上ゲヤウト思ヒマス、本案ハ民法中相續ニ關スル規定ヲ聊カ改メヤ

○議長（公爵近衛篤麿君）本案一讀會ニ移スベキモノト決シマ  
○村田保君 直チニ第一讀會ヲ開カレントヲ希望シマス  
〔賛成ト呼フ者アリ〕

貴族院議事速記錄第二十一號

ナルダラウト考ヘマス、尙ホ本案ハ條理ノ貫徹シナイ法案デアリマシテ、若シ入夫入婚デアルカラ家ノ血統ヲ重ジナケレバナラヌト云フ精神デアルナラバ

第一其妻ガ家女デアル場合ニ限リテ適用ガアリサウナコトデアリマス、又妻ガキニハ家女ノ生ンタル女子ハ後妻ノ生ンタル男子ヨリ先ニ相續スルト致シマセヌケレバ家ノ血統ヲ重ズルト云フ主意ハ通ラヌ、然ラバ嫡出子ヲ庶子ヨリ

重ズルト云フ精神デアルナラバ必シモ入夫入婚ノ場合ニ限ルト云フノハ理由ノ合ハヌコトガアル、其他ノ場合モ同様デアルト言ハヌケレバナラヌ、其上ニ形式ノ上ニ於キマシテモ、是ハ餘程缺點ノ多イ案デアリマシテ、民法ノ第九百七十條第一項第三號ト申スノハ男子又ハ女子ノ間ニアツテ嫡出子ガ庶子ニ先ダツト云フ規定デアル、此規定ガ必要デアルト云フコトナラバ其前ノ號即チ第二號ニ男子ハ女子ニ先ダツト云フ規定ガアリマスカラ、ソレニ對スル例外トシテ本案ノ如ク附加ヘルト云フコトナラバ分ル、三號ニ附加ヘマスノハ聊カ木ニ竹ヲ接グ嫌ガアリマス、其上此入婚ト云フ文字ハ法律文ニハ餘り見當ラヌ文字デアツテ民法中外ニ一箇所モナイ、是ハ俗ニハ隨分使ヒマスル言葉

ガ宜シイモノナラバ左様ナル場合ニハ適用ガナケレバ頗ル權衡ヲ失スルコト認メマスカラ、政府ハ同意スルコトハ出來マセヌカラ、願ハクハ速ニ否決

セラル、ヤウ致シタイ

○議長(公爵近衛篤曆君) 別段御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、狩獵法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

狩獵法中改正法律案

第一其妻ガ家女デアル場合ニ限リテ適用ガアリサウナコトデアリマス、又妻ガ

キニハ家女ノ生ンタル女子ハ後妻ノ生ンタル男子ヨリ先ニ相續スルト致シマセヌケレバ家ノ血統ヲ重ズルト云フ主意ハ通ラヌ、然ラバ嫡出子ヲ庶子ヨリ

重ズルト云フ精神デアルナラバ必シモ入夫入婚ノ場合ニ限ルト云フノハ理由

ノ合ハヌコトガアル、其他ノ場合モ同様デアルト言ハヌケレバナラヌ、其上ニ形式ノ上ニ於キマシテモ、是ハ餘程缺點ノ多イ案デアリマシテ、民法ノ第九

百七十條第一項第三號ト申スノハ男子又ハ女子ノ間ニアツテ嫡出子ガ庶子ニ先ダツト云フ規定デアル、此規定ガ必要デアルト云フコトナラバ其前ノ號即チ第二號ニ男子ハ女子ニ先ダツト云フ規定ガアリマスカラ、ソレニ對スル例外トシテ本案ノ如ク附加ヘルト云フコトナラバ分ル、三號ニ附加ヘマスノハ聊カ木ニ竹ヲ接グ嫌ガアリマス、其上此入婚ト云フ文字ハ法律文ニハ餘り見當ラヌ文字デアツテ民法中外ニ一箇所モナイ、是ハ俗ニハ隨分使ヒマスル言葉

ガ宜シイモノナラバ左様ナル場合ニハ適用ガナケレバ頗ル權衡ヲ失スルコト認メマスカラ、政府ハ同意スルコトハ出來マセヌカラ、願ハクハ速ニ否決

セラル、ヤウ致シタイ

○議長(公爵近衛篤曆君) 別段御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、狩獵法

中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

狩獵法中改正法律案

第一其妻ガ家女デアル場合ニ限リテ適用ガアリサウナコトデアリマス、又妻ガ

キニハ家女ノ生ンタル女子ハ後妻ノ生ンタル男子ヨリ先ニ相續スルト致シマセヌケレバ家ノ血統ヲ重ズルト云フ主意ハ通ラヌ、然ラバ嫡出子ヲ庶子ヨリ

重ズルト云フ精神デアルナラバ必シモ入夫入婚ノ場合ニ限ルト云フノハ理由

ノ合ハヌコトガアル、其他ノ場合モ同様デアルト言ハヌケレバナラヌ、其上ニ形式ノ上ニ於キマシテモ、是ハ餘程缺點ノ多イ案デアリマシテ、民法ノ第九

百七十條第一項第三號ト申スノハ男子又ハ女子ノ間ニアツテ嫡出子ガ庶子ニ先ダツト云フ規定デアル、此規定ガ必要デアルト云フコトナラバ其前ノ號即チ第二號ニ男子ハ女子ニ先ダツト云フ規定ガアリマスカラ、ソレニ對スル例外トシテ本案ノ如ク附加ヘルト云フコトナラバ分ル、三號ニ附加ヘマスノハ聊カ木ニ竹ヲ接グ嫌ガアリマス、其上此入婚ト云フ文字ハ法律文ニハ餘り見當ラヌ文字デアツテ民法中外ニ一箇所モナイ、是ハ俗ニハ隨分使ヒマスル言葉

ガ宜シイモノナラバ左様ナル場合ニハ適用ガナケレバ頗ル權衡ヲ失スルコト認メマスカラ、政府ハ同意スルコトハ出來マセヌカラ、願ハクハ速ニ否決

セラル、ヤウ致シタイ

明治三十五年三月三日 貴族院議長公爵近衛篤曆殿 衆議院議長片岡健吉

第一讀會 狩獵法中改正法律案 第一讀會

第十二條第二項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ  
狩獵法中左ノ通改正ス

第一項ノ期間ノ外ニ於テ特種ノ禽鳥ヲ狩獵セムトスル者アルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ特ニ之カ許可ヲ與フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第十一條ヲ適用ス

○男爵伊達宗敦君 此狩獵法中改正案ニ附キマシテ是ハ衆議院ノ案デアリマスケレドモ、一通り農商務省ノ政府委員ニ質問致シタイコトガアリマス、ソレハ他デハアリマセヌガ、此案ニハ「狩獵法ノ第十二條二項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ」第一項ノ期間ノ外ニ於テ特種ノ禽鳥ヲ狩獵セムトスル者アルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ特ニ之カ許可ヲ與フルコトヲ得「前項ノ

マスカラ十分ノ御説明ハ出來ヌカモ知レマセヌデゴザイマスケレドモ、此特種ノ禽鳥ト云フモノハドウ云フ種類デアリマスカ、ソコラノ所ハ衆議院ノ委員會デモ御臨ニナツテ御聽取ニナツテ居ルナラ伺ヒタイト思フ、ソレカラ此「前

項ノ場合ニ於テハ第十一條ヲ適用ス」ト云フコトニナリマスト、是ハ手モナンデ居リマスガ、婿養子ト云フ分ハ養子縁組ヲ爲ス同時ニ婚姻ヲ爲ス場合デアリマスカ如何デアリマスカ分リマセヌガ、尙ホ此外ニ男子ヲ養

明デアル、通常ハ入婚ト云フ中ニ入夫モ入レ、ソレデ婚養子ヲ合セテ入婚ト呼

ンデ居リマスガ、婿養子ト云フ分ハ養子縁組ヲ爲ス場合デアリマスカ如何デアリマスカ分リマセヌガ、尙ホ此外ニ男子ヲ養

マシタ、其他鶴杯ハ獵期外ニ於テ之ヲ捕リタイト云フヤウナ種々ナ説ガ出マシタ、是ガ衆議院ノ方デノ提出者ノ意向デゴザイマス、然ルニ政府ハソレ等ニ對シマシテ、全然反対ナノデ其主意ハ悉ク前議會ニ於キマシテ從來ノ狩獵法ノ不備ナルコトヲ認メテ改正致シマシタコトハ御承知ノ次第デ、其改正シマシタトキノ主意ト云フモノハ、甲種乙種ノ免狀ガ一通リニナッテ居リマスル中デ甲種ノ分ガ満一箇年通ジテ從前ハ狩獵ヲサシテ居リマス、ソレハ甚ダ弊ガアル、ナゼ弊ガアルカト申シマスルト、近來蟲害等ノ憂モ續々起ツテ參リマスルシ、是ニハ蟲ノ蕃殖スル際ニ於テ一度鳥類ノ孵卵致シマスル蕃殖致シマスル時期ト同一ニナル、是非コレハ鳥杯ニ蟲ヲ捕ラスルト云フコトモ蟲害ノ天然ノ豫防法デアル、現ニ各地方カラシテ濫獵ノタメニ蟲害ガ多クナルト云フコトモアル位デアル、旁以チマシテ前議會ニ於テ之ヲ改メマシテ甲種モ乙種モ同様ニ期間ヲ定メマシタ、然ルニ此案デ見マスルト改正以前ノ不備ナル法律ト同様ノコトヲ繰返シテ持ツテ參ツタト同ジコトデアリマス、第一ニハ昨年改正致シマシタ主意ニ反スル、第二ニハ之ガ取締ヲ如何ニスルカト云フト取締ニモ頗ル困難ヲ致シマスル、鳥ヲ捕リマスル際ニ、附イテハ居ラレマセヌ、才鳴ヲ捕ルト云ウテ他ノ鳥ヲ捕ルト云フコトモナイトモ限ラナイ、又ソレヲ許スト鶴ヲ許シテ吳レト云フコトニナル、鶴ハ許サヌト云フコトニナッテモ其他獵期外ニ七十種カラノ鳥ガ來テ居リマス、殆ド此鳥ハ全國ニ渡ツテ來テ居ルト言ハナケレバナラヌ、サウスル各地ニ許サナケレバナラヌ、遂ニ改正シタ主意ニ反スル故ニ反対デアルト云フコトヲ委員會デモ述べマシテゴザイマスケレドモ、遂ニ衆議院ニ於テハ可決ニナツタノデゴザイマスケレドモ、如何ニモ今日ノ行レテ居リマスル所ノ法律ニ忽チ差支ヲ起シマスル、今日ノ法律ノ主意ヲ破ルヤウナコトニナリマスルカラ、成ルベクハ是ハ否決ニナランコトヲ祈リマスルデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤麿君) 他ニ御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、明治二十四年法律第二號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

明治二十四年法律第二號中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

衆議院議長岸岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤麿殿

明治二十四年法律第二號中左ノ通改正ス

地租徵收期限中三期ヲ左ノ如ク改ム

三期

(翌年一月一日ヨリ  
同月三十一日限)

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今日程ニ上ツテ居リマスル法律案ハ十二月ノ十六日カラ一月ノ十五日限ニ取立テマスル地租ヲバ十五日延ベマシテ三十一日マデニ取立テルト云フコトニ改正シタトイト云フ主意ニナッテ居ル法律デゴザイマス、僅カ納期ヲ十五日間延スト云フノデアッテ、問題ハ小サイヤウデゴザイマスガ、併シ此事ハ國庫ノ現況ヲ申上ゲテ容易ニ同意スルコトノ出來ナイト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、今日ノ此國庫ノ現狀ヲ申上ゲルト歲入ノ這入ヅテ參リマスルモノト月ミノ仕拂ヲ致シマスルモノガ、何時デアリマス、勿論歲入ノ四月以後ニナツテハ這入ルモノハ這入リマスルガ、全體ニ所デハ八百萬圓バカリ歲入ニ於テ足ラナイ、ソレガ五月ト六月ニナリマスルト二千萬圓乃至四千萬圓バカリ足リナイト云フヤウニナツテ來テ居ルノデアリマス、勿論歲入ノ四月以後ニナツテハ這入ルモノハ這入リマスルガ、全體ニノト比較シマスルト、出ルモノ、方ガ多イノデアリマスカラ、毎月不足ニナツテテ翌月ニ回ヅテ行クト云フコトデアリマスカラ、ソレ故ニ政府ハ借入ヲ致シタリ大藏省證券ヲ發行シテ此不足金ノ補ヲ爲シテヤルヤウナ譯デアリマス、十二月ノ所デハ如何デアルカト云フト三千二百萬圓バカリノ金ガ不足ニナツテ居リマス、其金ガ一月十五日ニ於テ田租ノ第一期ガ地租デゴザイマスルト第三期ニナルノデゴザイマスガ、田租ノ第一番ニ取ルノガ八百萬乃至九百萬這入ルノデ是デ補ニナル譯ニハナリマスケレドモ、ソレヲバ尙ホ十五日延スト云フコトニナルト、一月三十一日ダト云フト何レ二月ニ這入リマセヌト此國庫ニハ這入リマセヌ、納期ガ過ギマシテカラ三四日經チマセヌト國庫ニハ這入リマセヌ、サウスルト一月ノ仕拂ニ充テルコトハ出來マセヌカラ、即チ十二月ニ三千二百萬カラ不足ヲ生ジテ居ル、一月ニナツテ現行法ノ儘デ三千百萬圓バカリハ矢張借入金ヲ致サナケレバナラヌト云フ、狀況ノ所デ、尙ホ田租ノ此納期ガ延ビマスルト云フト、更ニ其上ニ八百萬圓乃至九百萬圓ノ金ガ不足ヲ致シマスカラ、一月ニ於テハ四千萬圓カラノ不足金ニナルノデアリマス、大藏省證券ガ何時デモ良イ景氣デアリマスレバ宜シウゴザイマスケレドモ、サウ云フコトハ必シモ豫期スルコトハ出來マセヌカラ、ソレニハ借入金ノ金利ト云フモノガ伴ヒマスカラ、八百萬ナリ九百萬ナリノ金ヲ一箇月ナリ十五日ナ

リ借りマスレバソレダケハ矢張利ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマス、國庫ノ狀態ガ左様ナ狀態デスカラ僅ナコトノヤウデハゴザイマスガ、本案ヲ贊成スルコトハ出來マセヌ、尙ホ民間ノ取引ノ方ニモ便利デアルト云フコトデアリマスガ、此方トテモ大ニ考フベキモノデアラウト思ヒマスノハ、一月ノ三十一日ト云フモノハ舊節季デゴザイマスカラ舊節季ニナリマスレバ何レ金ノ回リガドウカト云フト逼迫スル時ニナルノデゴザイマスカラ、其時ニ納期ヲ延スト云フコトハ民間ノ方ニ致シマシテモ、ドチラノ方カラ考ヘマシテモ本案ノ如キハ成立シナイコトヲ望ミマセヌケレバナラヌノデゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、國稅徵收法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

國稅徵收法中改正法律案(衆議院提出)

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治三十五年三月四日

右特別委員長

伯爵正親町 實正

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別冊)

國稅徵收法中左ノ通改正ス

第五條第二項中「地租徵收ノ費用ハ其ノ市町村ノ負擔トシ其ノ他ノ國稅」ヲ「ノ場合ニ於テ」ニ「百分ノ四」ヲ「百分ノ一」ニ改メ左ノ但書ヲ加フ  
但シ地租條例第一條第二項ニ依リ增徵スル地租ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附・則

本法ハ明治三十五年度ヨリ之ヲ施行ス

(伯爵正親町實正君演壇ニ登ル)

○伯爵正親町實正君 本案ノ特別委員會ノ經過並結果ヲ御報告致シマス、本委員會ハ兩度開キマシテ種々研究ヲ盡シマシテゴザイマス、抑、本案ノ改正ヲ要シマスル趣旨ト申シマスルモノハ、現行法ハ此國稅徵收法第四條ニ依リマシテ、此國稅ノ徵收ト云フモノハ市町村ノ責任デアルト云フコトデアラヌテ、ソレカラ其地租ハ市町村ノ負擔デ義務トシテヤラナクチヤナラヌガ、其他地租以外ノ國稅徵收ニ向ツテハ百分ノ四ノ交付金ヲ遣ハススウ云フ規定ニナッテ

居ルノデアリマス、ソレヲ衆議院ハ其地租モ其他ノ國稅モ籠メテ平等ニ百分ノ一ノ交付金ヲ遣ハシタイ、斯ウ云フ修正ナノデアリマス、デ詰リ其同ジ國稅デアリナガラ地租ニハ遣ラナイ、地租以外ノ國稅ニハ此交付金ヲ遣ルト云フノハ如何ニモ公平ヲ失シテ居ル譯デアルカラ、ソレデ是ハ均ニ致シタイト云フ、實ハ衆議院ノ速記録等デ見マスルト云フト始ハ此衆議院デハ百分ノ四ノ儘デ、地租ニモ總テ遣リタイト云フヤウナ案デアツラシウアリマス、併ナガラ全體餘程此交付金額ト云フモノハ夥シイ金額ニナリマスル、斯ノ如ク金額ガ上ルヤウデハ政府ノ財政ノ都合モアラウカラ、ソレデハイカヌニ依ッテ詰リ現在交付金ノ額ニ突合フ位ノ程度デ修正ヲ加ヘタイ、サスレバ丁度百分ノ一トシテ今現在ノ交付金ノ程度ト略突合フモノデアル、サウ云フ修正ニナッテ來タヤウニ見エマス、然ルニ政府ハ此案ニハ反對ナシニデス、デ委員會ニ於キマシテモ段々政府委員カラ反對説ヲ承リマシタガ、此要旨ト申シマスルモノハ……其反對ノ要旨ハ斯様ナ譯デアル、此地租ノ徵收ト云フモノハ抑日本開闢以來斯ノ如キ交付金杯ヲ遣ッタコトモナク元ハ此市町村若クハ個人ノ義務トシテアツタガタメニ元ハ此地租以外ハ餘リ稅ハナカツタノデアリマス、殆ド地租一種ト云フテモ宜イ位ノ話デアッテ、サウ云フ譯デアツタカラ少シモ其地租杯ト云フモノニ遣ルト云フコトハナインデアル、併ナガラ其後ニ段々此所得稅トカ營業稅ト云フガ如キ新稅ガ出來テ來タニ附イテ斯ノ如キニ向ツテハ手數ヲ遣ラナクチヤナラヌト云フコトニナリマシテ、百分ノ四ノ交付金ヲ遣ルコトニナッタノデアル、詰リ此慣例トシテ地租ノ方ハ無論ヤツタモノデアルカラ今更慣例ヲ破ッテヤル必要ハナシ、加之又此市町村ノ方デハ成ル程地租徵收ニ附キマシテハ隨分徵收費ガ掛ルデアラウガ、併ナガラ此徵收費ト云フモノハ敢テ地租徵收事務ヲ扱ハヌ所ガ、或ハ田畠ノ數ヲ調ベルトカ又名寄帳ヲ持ヘルトカ云フヤウナコトデ相當ノ金ガ入ルコトデアルカラ敢テ地租徵收ニノミ是ガ入ルト云フ譯デナインデアル、旁以テドウモ此議案ニハ同意ガ出来ヌト云フヤウナマア意味デアリマシタ、尙ホ詳シイコトハ政府委員カラモ御説明モゴザイマセウガ、要スルニサウ云フヤウニ聽取リマシタ、委員ニ於テモ尙ホ其他ニ何カ政府ガ反對ノモウ少シ理由ハナイカト段々聞キマシタガ、別ニ其他ニハ新シイ理由モナイヤウニ考ヘマス、ソコニ至シテ委員ニ於キマシテモ段々政府カラ之ニ關係シタ調査ノ書類等モ要求シマシテ色ニ比較シテ審議ヲ致シテ見マシタ所ガ、其結果實ハ斯ウ云フコトニナル、唯今此百分ノ四交

付金ヲ地租以外ニ遣シテ置クト云フコトニナルトスウ云フ結果ニナル、此徵收費ト云フモノガドレ位掛ルカト申セバ地租ノ稅額ガ四千六百八十四萬五千九百七十一圓ト云フ位ニナル、之ニ要スル徵收費ト申シマスルモノハ百七十六萬四千九百五十八圓、ソレカラ其所得稅、營業稅自家醬油稅、賣藥營業稅、此四ツヲ合セマシタ此合計ガチヨット此ニ出テ居リマセヌカラ申上ゲマセヌガ、大要百七十何萬圓ト云フモノデアリマスカラ僅ナモノデアリマス、是ノ徵收費用ガ八萬八千幾ラト云フモノデアリマス、之ヲ比較シテ見マスルト云フト此地租百圓ニ附イテ凡ソ徵收費ガ三圓八十錢バカリ掛リマス、其他ノ地租以外ノ費用ニ向シテハ百圓ニ附イテ七十九錢、然ルニ此七十九錢ノ費用ニ向シテ政府ハ百圓ニ附イテ四圓ノ交付金ヲヤルト云フコトニ今ナツテ居ル、サウスルト假ニ之ヲ八十錢ト見マシテ二圓二十錢ト云フモノハ出費ヨリ市町村ガ儲ケルト云フコトニナル、利益ヲ得ルト云フコトニ今ナツテ居ル、殆ド四倍程ノ利益ヲ得ルト云フコトニナツテ居ル、ソレニ反シテ此地租ノ方ハ出費其他ガ國稅ノ五倍程掛ルニモ拘ラズ是ハ一文モ貰ハヌ斯ウ云譯ニナツテ居ル、ソレデマアト云フコトニナル、利益ヲ得ルト云フコトニナツテ居ル、ソコデ之ヲ百分ノ一トシマシテ勘定スルト……平均百分ノ一二當ルト云フコトニ勘定シマスト此交付金ノ高ハ現在ノ高トドウ云フコトニナルカト申セバ、此三十五年度ノ豫算ニ依リマスト、是ハ政府ノ調デアリマスガ四十四萬四千九百八十三圓ト云フモノガ掛ル、是ハ交付金……三十五年度ノ交付金豫定額、ソレカラ百分ノ一二シマスト云フト五十七萬三千八百八十一圓トスウ云フコトニナリマス、地租ノ金額ニ掛ル、然ルニ衆議院ノ案ハ地租増徵ニナリマス分ダケハ除イテアルデス、其理由ハ後トカラ申上ダマスガ、ソレヲ除クト云フト丁度四十五萬七千九十一圓ト云フモノニナル、サウスルト此現在三十五年度ノ豫定額ト比較シテ見ルト僅ニ一萬二千二百八圓ト云フモノガマア殖エルト云フコトニナリマス、殆ド現在ノ交付金ノ額ト合フコトニナリマス、總高ハ……ソレデ先ヅ斯様ナ理由デアルノデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテモ色彩議論モゴザイマシタガ、結局斯様ナ有様デアレバ何カ他ニ地租ニハ遣ラナイト云フモウ少シ鞏固ノ理由デモラバ免モ角デアルガ、今マデ承ッタ理由ダケデアルト唯慣例ニ依ルト云フ位ノコトデアシテドウモ公平ヲ失スルヤウデアル、故ニ此百分ノ一トシテ之ヲ一般ノ地租ナリソレカラ所得稅ノ總テノ徵收費ニ對シテ交付スル方ガ公平デアラウカラ、此衆議院ノ改正案ト云フモノハ最モ公平ヲ得タモノデアラウト云フノデ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ

サウ云フ決議ニナリマシテゴザイマス、ソレデ此地租條例第一條第二項ニ依リ增徵スル地租ハ此限ニ在ラズト、詰リ地租增徵ニ依シテ殖エタ千何百萬圓ト云フ地租ニ對シテハ除ケテアリマスガ、是ハ同シ地租ニ遣ルナラバ少シ是ダケ除ケルノハ如何ト思ヒマスガ、併シ是ハ最早諸君モ御承知ノ如ク三十七年五月三十六年度二箇年ダケノコトデ、現在ノ悉クニ與ヘナイト云フコトニ比較シテ、是ダケハ除イテ置イテモ格別差支ハナカラウト云フ考ヘデアリマス、サウ致シマスト丁度今申シタ金額デ格別政府ノ歲出ノ上ニモ差響カズ、而シテ稍公平ヲ得ルコトガアラウ、併ナガラ茲ニ若シ斯様ニ極メマスレバ、唯少シク差當リ穩當フ缺カウカト思フノハ市部ト郡部ノ關係デアリマス、若シ斯ヲ得ルト云フコトニナツテ居ル、ソレニ反シテ郡部ノ權衡上カラ行キマスト如何ニモ餘程不權衡ナモノニナツテ居ル、ソコデ之ヲ百分ノ一トシマシテ勘定スルト……平均百分ノ一二當ルト云フコトニ勘定シマスト此交付金ノ高ハ現在ノ高トドウ云フコトニナルカト申セバ、此三十五年度ノ豫算ニ依リマスト、是ハ政府ノ調デアリマスガ四十四萬四千九百八十三圓ト云フコトニナツテ居ル、ソレカラ市部ノ方ニ於テモ今日マデハ前刻申上ゲタ如ク實費以上數倍ノ利益ヲ得テ居ラト云フ譯デアリマスカラ、今日百分ノ一ヲ與ヘルトシテモ、七十九錢ニ對シテ一圓貰フコトデアリマスカラ、ソレ得ルト云フ結果ニナリマセウ、併ナガラ市部ノ方ニ於テモ今日マデハ前刻申上ゲタ如ク實費以上數倍ノ利益ヲ得テ居ラト云フ譯デアリマスカラ、今日百分ノ一ヲ與ヘルトシテモ、七十九錢ニ對シテ一圓貰フコトデアリマスカラ、平均額ノ實費ヨリハ幾ラカ餘計貰フト云フコトニナリマスカラ、事實損ハ行カヌノデアリマス、併ナガラ之ヲ細カク各市トカ各町村トカ云フモノニ割當テ、見マスト、ソレハ中ニハ得ノ行ク町村モアレバ損ノ行ク町村モアルト云フコトハ、多少ドウモ免レマイト思ヒマスガ、併ナガラ是ハ一々ニ當ッテ何スルト云フコトニナルト、實ハ甚ダ煩雜ナ話デゴザイマスガ、マア斯ウ云フコトニ向シテハ大體ノ上ニ於テ平均ヲ取シテ見ルヨリ外ニ仕方ハアルマイ、其平均ヲ取ルト云フト詰リノ結果ハ右ノ如クニナリマスカラ、現在ノ所謂偏重偏輕ノ形ヨリハ餘程公平ヲ得ルコトデアラウ、斯ウ云フ委員會ノ決議デアリマシタノデアリマス、ソレカラ之ニ附則ヲ加ヘテ置キマシタガ、ナゼ此附則加ヘタト申シマスト、此儘デ通過シマスルト諸君モ御承知ノ如ク別ニ期限ノナイモノデアリマスカラ、是ハ法令ノ定ムル所ニ依シテ公布ノ後ニ、公布二十日以後ニ效力ヲ生ズルト云フコトニナリマスカラ、サウスルト事ニ依ルト本月ノ二十五六日頃ニ此法律ハ效力ヲ有スルト云フコトニナラヌトモ言ヘマセヌ、サウ致シマスト僅カ五六日ノ間ノコトデ此法律ニ依シテ市町村ノ交付金ヲ削ルトカ、郡部ニ遣ルトカ、地租ニ遣ルトカ、其他削ルトカ云フヤウナ、僅ナコトデ非常ニ手數ガ掛リマスカラ、ソレデ此三十四年度ハ元ノ通ニシテ置

イテ、二十五年度カラ此法律ニ依シテ施行スルト云フコトニシタナラバ大變便利デアラウト云フ所カラ、此附則ニ施行期限ヲ加ヘマシタノデ、是ハ大體ノ本文ノ所ニハ少モ變リハアリマセヌガ、唯實際ノ取扱ニ於テ斯ク致シテ置イタ方ガ頗ル便利デアラウト云フ意味デ加ヘタノデゴザイマス、大體ノ委員會ノ主旨ハ斯様ナコトデアリマス、何卒御贊成アランコトヲ希望致シマス。

○子爵谷干城君 是ハ簡單ナヤウニハアリマスケレドモ、先刻可決ニナリマシタ國租徵收法案中ノ一部デアルガ、ソレニ載ツテ居ラヌト云フノデ、私共ハ地租ノ徵稅ニ對シテハ苛酷ノコトノアルヤウニ認メテ居ル、マットドウモ輕ウシナケレバ農民ガ立ツマイト云フコトハ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ隨分容易ナラヌコト、考ヘマス、尙ホ政府ノ意向等ノコトヲ委員長カラシテ御述ニナリマシタケレドモ、政府委員ヨリ明ニ一つ御答辯ヲ承リタウ存ジマス、是ハ中々容易ナ譯デアリマセヌカラハ、讀會省略ドコロデハナイ、尙ホ一層御吟味ニナラヌケレバイクマイト思ヒマスカラ、政府委員ノ説明ヲ承リタイト思ヒマス。

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ニ附キマシテハ一讀會ノ初ニ於テ政府委員カラ御同意ヲシ兼ネルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタノデゴザイマスガ、委員會ニ於テハ施行期限ヲ定メテ可決セラレタ次第デゴザイマスカラ更ニ政府デ不同意ヲ表シテ居リマス理由ヲバ申上ゲルコトニ致シマス、大體ニ於テハ委員長ガ御述ニナツタ通デゴザイマスケレドモ、ソレヲ段ヲ別ケテ申上ゲマスト云フト、凡ソ此地租ニ附イテハ……地租ニ附イテハト申シマスガ、從來地租ガ日本デハ殆ド唯一ノ租稅デゴザイマシタノデアリマスカラ、租稅ニ附イテハト申上ゲテモ宜イ位デアリマスガ、地租ニ附イテハ是マデハ貢租ト申シテ、持ツテ行ツテ納メルト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、即チ人民カラ地租ヲ納メマスコトハ、政府ノ倉へ納マルマデハ人民ノ費用デ之ヲ爲スト云フコトガ從來ノ慣例デアリマシテ、其事柄ハ御維新後ニ於テモ矢張リ繼續シテ居ツタモノデゴザイマス、ソレデ今マデサウ云フヤテ、今日マデ法律ガ經過シテ居ルノデコザイマス、ソレデ今マデサウ云フヤテウニナツテ居リマシタモノヲバ、今更ニ之ヲ變ヘテ徵收費用ハ國庫カラ幾分出サナケレバナラヌト云フヤウナ事情ガ起ツタカト申セバ、サウ格段ナ事情

ノ起ツタコトデモナイ以上ハ、此慣例通ニ取扱シテ相當デアル、斯ウ云フノガ不同意ヲ申上ゲル一ツノ理由デゴザイマス、ソレカラ其次ニハ唯今委員長ガラモ申上ゲマシタ如ク總テ法律ノ改正ヲ致シテ俄ニ現狀ヲ變ハ宜シクアルマイト考ヘマスノデ、今日或ル事柄ガアツテ、ソレニ依ツテ現狀ガ成立ツテ居ルナラバ、必要ノナイ限ハ之ヲ動カサヌ方ガ宜シクハアルマイカ、町村ハ町村デ地租ノ徵收ノ費用ヲ負擔シテ是マデズツト參ツテ居リマス、市ノ如キモ地租ニ附イテハ左様デアル、ソレカラ町村ハ營業稅ナリ所得稅ナリヲ取りマヌニ依テハ、矢張交付金ヲ貰フコトニナル、市モ矢張左様デアル、此交付金ナルモノハ委員長ノ述ベラレマシタ如ク、幾ラカ市デハ徵收費ヨリ以上ニナツテ居ル、ソレ故ニソレガ自ラ市ノ財源ニナツテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、然ルニ之ヲ改正シテ交付金ノ高ヲ百分ノ四ヲ減シテ百分ノ一ト致シマスト云フト、市ト云フモノハ市ニ限リマセヌ町村ニ於テモ交付金ノ多イ所ハ左様デゴザイマスガ、是等ノモノハ之ガタメニ新ニ他ニ財源ヲ見附ケル、即チ町村稅ナリ市稅ナリヲ、新ニ財源ヲ得マセヌケレバ其缺損ガ附キマシタマデモ斯様ナ改正ヲシナケレバナラヌカト云フト左程デモナイカラ是ハ現狀ノ儘ニ置カレタ方ガ相當デアルト云フノガ第二ノ理由デアリマス、第三ノ理ガ、委員會ニ於テハ施行期限ヲ定メテ可決セラレタ次第デゴザイマスカラ更ニ政府デ不同意ヲ表シテ居リマス理由ヲバ申上ゲルコトニ致シマス、大體ニ於テハ委員長ガ御述ニナツタ通デゴザイマスケレドモ、ソレヲ段ヲ別ケテ申上ゲマスト云フト、凡ソ此地租ニ附イテハ……地租ニ附イテハト申シマスガ、從來地租ガ日本デハ殆ド唯一ノ租稅デゴザイマシタノデアリマスカラ、租稅ニ附イテハト申上ゲテモ宜イ位デアリマスガ、地租ニ附イテハ是マデハ貢租ト申シテ、持ツテ行ツテ納メルト云フコトガ原則ニナツテ居リマス、即チ人民カラ地租ヲ納メマスコトハ、政府ノ倉へ納マルマデハ人民ノ費用デ之ヲ爲スト云フコトガ從來ノ慣例デアリマシテ、其事柄ハ御維新後ニ於テモ矢張リ繼續シテ居ツタモノデゴザイマス、ソレデ今マデサウ云フヤテ、今日マデ法律ガ經過シテ居ルノデコザイマス、ソレデ今マデサウ云フヤテウニナツテ居リマシタモノヲバ、今更ニ之ヲ變ヘテ徵收費用ハ國庫カラ幾分出サナケレバナラヌト云フヤウナ事情ガ起ツタカト申セバ、サウ格段ナ事情

ノ起ツタコトデモナイ以上ハ、此慣例通ニ取扱シテ相當デアル、斯ウ云フノガ不同意ヲ申上ゲル一ツノ理由デゴザイマス、ソレカラ其次ニハ唯今委員長ガラモ申上ゲマシタ如ク總テ法律ノ改正ヲ致シテ俄ニ現狀ガ成立ツテ居ルナラバ、必要ノナイ限ハ之ヲ動カサヌ方ガ宜シクハアルマイカ、町村ハ町村デ地租ノ徵收ノ費用ヲ負擔シテ是マデズツト參ツテ居リマス、市ノ如キモ地租ニ附イテハ左様デアル、ソレカラ町村ハ營業稅ナリ所得稅ナリヲ取りマヌニ依テハ、矢張交付金ヲ貰フコトニナル、市モ矢張左様デアル、此交付金ナルモノハ委員長ノ述ベラレマシタ如ク、幾ラカ市デハ徵收費ヨリ以上ニナツテ居ル、ソレ故ニソレガ自ラ市ノ財源ニナツテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス、然ルニ之ヲ改正シテ交付金ノ高ヲ百分ノ四ヲ減シテ百分ノ一ト致シマスト云フト、市ト云フモノハ市ニ限リマセヌ町村ニ於テモ交付金ノ多イ所ハ左様デゴザイマスガ、是等ノモノハ之ガタメニ新ニ他ニ財源ヲ見附ケル、即チ町村稅ナリ市稅ナリヲ、新ニ財源ヲ得マセヌケレバ其缺損ガ附キマシタマデモ斯様ナ改正ヲシナケレバナラヌカト云フト左程デモナイカラ是ハ現狀ノ儘ニ置カレタ方ガ相當デアルト云フノガ第二ノ理由デアリマス、第三ノ理由ハ地租ノ徵收ヲ致シマスニハ無論費用ガ掛リマス、地租ヲ徵收シマスル費用ガ町村ニドウ云フノガ掛ルカト云フト土地臺帳ヲ備ヘテ置キ或ハ名寄帳ヲ備ヘテ置クコト是等ガ最モ地租徵收ニ附イテ大切ノ事デ、而モ費用ノ掛ルコトデモアリマスガ、是等ノコトハ地租ヲ取ルタメノミノ必要デアルカト云フトサウデハナイ、名寄帳环ハ場合ニ依ルト公權ニ參與スル資格ヲ定メル元ニトサウデハナリ、名寄帳环ハ場合ニ依ルト公權ニ參與スル資格ヲ定メル元ニモナリマス、又土地臺帳ハ今日デ申シマスト登記ニナライ未登記ノ土地ガ隨分アリマスノデ、ソレ等ニ對シテハ土地臺帳ニ依ツテ所有權ヲ確カメル、勿論其土地臺帳ハ稅務署ニ備ヘテアル土地臺帳デハアリマスガ町村ノ人ガ稅務署マデ見ニ參ルノハ不便デアリマスカラ、皆村役場ニアル土地臺帳ヲ見テ自分ノ土地並ニ他人ノ所有シテ居ル土地ノ狀態ヲ知ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ地租ノ徵收費トシテ交付スルニモ及バヌト云フノガ第一三ノ理由デアリマス、此事ハ衆議院ニ於テモ説明ヲ致シマシタシ當院ノ委員會ニ於テモ十分説明ヲ致シマシタカラ委員會ニ於テハ十分御調査ニナツテ唯

今申上ゲルヤウナコトヲ御参考ノ上ニ議決ニナッタラウト思ヒマスガ、唯今申

スヤウナ事柄モ隨分重大ナ事柄デアルシ又相應ニ理窟モアルト思ロマスカ

ラ、ドウカ此案ニ附イテハ能ク御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ニ於テハ

尙ホ此案ニ反対シテ異議ヲ維持致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 他ニ發議ガナケレバ本案ヲ二讀會ニ移スベキヤ否  
ヤ決ヲ採リマス

(子爵谷千城君發言ノ許可ヲ求ム)

○議長(公爵近衛篤脣君) 谷子爵ハ何デスカ

○子爵谷千城君 意見ヲ一通リ述べテ置キタイト思ヒマス、此際宜シウゴザ

イマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷千城君 是デ申シマス、私ハ全體地租ニ掛ル稅ノ重イコト、地租ノ  
他ノ稅ニ比べテ不公平ナコトハ能ク認メテ居リマスガ、併シ此法ガ通過シマ

スト譬ヘテ言ヘバ甲ノ者ヨリ乙ヘ負擔ヲ移スト云フコトニナシテ、差引シテ見

ルト一向利益ガナイヤウニナリハセヌカト思フ、ソレデ是ハ隨分容易ナラヌ  
コトデアリマスカラシテ……決シテ絶對ニ反対スルノデハナリ、非常ニ能ク

分シタラ賛成スルカモ知レヌガ、此場合ニ御決シニナル事柄デハアルマイト思

ヒマスカラ、先ヅ是ハ否決ニ致シマシテ、ユツクリ他日ニ御評議ニナルガ宜

カラウト思ヒマスカラ、私ハ否決説ヲ述べテ置キマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 他ニ御發議ガナケレバ採決シマス、本案ヲ第二讀

會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤脣君) 少數ト認メマス、本案ハ廢案ニナリマシタ、本日  
ノ議事ハ是ニテ終リマス、先刻來御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報  
道致シマス

(太田書記官長朗讀)

市町村會議員及市參事會員ニ關スル法律案兩院協議會委員

伯爵正親町 實正君 子爵谷 千城君 子爵堀田 正養君  
男爵松平 正直君 三浦 安君 男爵小早川 四郎君  
南鄉 茂光君 關義 臣君 富田 鐵之助君  
武井 守正君

#### 骨牌稅法案特別委員

公爵二條 基弘君 子爵藤井 行德君 子爵梅小路 定行君

子爵三島 蘭太郎君 男爵岩村 高俊君 村田 保君

男爵杉溪 言長君 松本 鼎君 高橋德右衛門君

#### 東京市區改正條例中改正法律案特別委員

子爵長岡 譲美君 子爵錦織 敦久君 子爵鍋島 直虎君

子爵山井 兼文君 男爵尾崎 三良君 松岡 康毅君

高木 兼寬君 小松原英太郎君 菊池 長四郎君

#### 民法中改正法律案特別委員

三好 退藏君 平山 成信君 渡 正元君

馬屋原 彰君 奥山 政敬君 菊池 武夫君

#### 狩獵法中改正法律案特別委員

侯爵松平 康莊君 伯爵大村 純雄君 子爵前田 利鬯君

子爵一柳 末徳君 子爵青山 幸宜君 男爵伊達 宗敦君

男爵新田 忠純君 男爵毛利 五郎君 高廣 次平君

#### 明治二十四年法律第二號中改正法律案特別委員

子爵千種 有梁君 辻 新次君 男爵寺島 秋介君

男爵中川 興長君 男爵吉川 重吉君 石井省一郎君

中島 永元君 磯邊 包義君 河路 重平君

#### ○議長(公爵近衛篤脣君) 明日ノ議事日程ハ追テ御報道シマス、今日ハ散會

午前十一時三十七分散會